



SDGs 未来都市

豊橋市

(公社)愛知県建築士事務所協会東三河支部

支部長

萩本 茂夫

南海トラフ地震 臨時情報を改めて認識する

実はどやばい状況でした

令和4年 1月22日発生 震源:日向灘

巨大地震の想定震源域

南海トラフ

南海トラフ地震の監視領域内（黄色枠内）でマグニチュード 6.8 以上の地震などが発生した場合に「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されることとなっています。この後さらに「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」や「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表されると防災対応をとる必要があります。

では、1月22日の未明に発生した地震はどうだったか？震源の周辺地域で緊急地震速報が鳴らされた直後の予測マグニチュードは7.2でした。この数値ですと即座に臨時情報が発表されます。その後、地震の規模が6.4→7.5→6.8→6.4と修正され、最終的には6.6と発表されました。しかし、もしこれが6.8もしくは7.0、8.0となっていたらどうなっていたか？

6.8で臨時情報（調査中）、**7.0**で臨時情報（巨大地震注意）、**8.0**で臨時情報（巨大地震警戒）が発令されていたら・・・市民の皆さんはどういった行動が必要だったかご存じですか？

この機会にぜひ、気象庁が公表している内容をチェックしてください。

気象庁より発表される南海トラフ地震臨時情報の発表条件はこちら	
内閣府・気象庁が発行する南海トラフ地震臨時情報リーフレット	
豊橋市ホームページ南海トラフ地震臨時情報	

1 所轄庁で発生する巨大地震に備えましょう
→南海トラフ地震臨時情報へ

2 巨大地震警戒が発令されると、事前避難対象地域内にお住まいの全ての住民が避難します



令和4年2月に防災ラジオがリニューアル

緊急情報を聞き直す機能が新しく装備されました。

出典：豊橋市防災危機管理課

豊橋市役所	豊橋市防災危機管理課	電話	51-3126
耐震関係	豊橋市役所 建設部 建築物安全推進課(東館3階)	電話	51-2579
(公社)愛知県建築士事務所協会東三河支部長	萩本一級建築士事務所	電話	090-1233-5119

文責：萩本 茂夫